

平成29年度第3回新城市地域公共交通会議 会議録

1 開催日時

平成30年1月9日（火）午前10時10分～午後0時17分

2 開催場所

新城市勤労青少年ホーム 軽運動場

3 委員（18名中14名出席）

所属等	氏名	備考
新城市長	穂積 亮次	欠席
名古屋大学大学院環境学研究科 附属持続的共発展教育研究センター教授	加藤 博和	
公益社団法人愛知県バス協会専務理事	古田 寛	代理 事務局長 小林裕之
豊鉄バス株式会社取締役営業企画部長	長縄 規之	
豊鉄タクシー株式会社取締役社長	浅野 丈夫	
新城交通有限会社代表取締役会長	大橋 京子	欠席
豊橋鉄道労働組合中央執行委員長	長坂 和俊	
新城市社会福祉協議会長	前澤このみ	
新城市老人クラブ連合会長	加藤 実	
千郷小学校PTA副会長	今泉 照代	
バス利用者代表	加藤久美子	
バス利用者代表	筒井 博仁	
バス利用者代表	村田 藤子	欠席
中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官	岡田 英雄	
愛知県振興部交通対策課主幹	桑原 良隆	
愛知県新城警察署交通課長	伊藤 由介	
愛知県新城設楽建設事務所維持管理課長	深津 博司	欠席
新城市総務部長	竹下 喜英	
新城市健康部長	川合 教正	

4 会議次第

1 あいさつ

2 協議事項

- (1) 地域公共交通確保維持改善事業一次評価（自己評価）について
- (2) 新城市地域公共交通網形成計画の進捗状況について

3 報告事項

- (1) 新城名古屋藤が丘線高速乗合バス「山の湊号」について

4 意見交換

5 その他

5 議事の結果

1 あいさつ

(副会長)

今日の議題は、地域公共交通確保維持改善事業一次評価（自己評価）が中心になる。みなさんの評価を加え提出することが主題になる。国のバスに関する動きとしましては、バスの国庫補助の変更が見込まれます。バスに関係する法の動向に気をつけていただきたい。

2 協議事項

(1) 地域公共交通確保維持改善事業一次評価（自己評価）について

・事務局より資料に基づく説明と中部運輸局愛知運輸局よりの評価の概要とその後の事務手続きについて説明が行われた。会議で出た意見を評価内容に追加修正することとなり、修正事務を事務局に一任し提出することを承認された。

【委員】

・まだやっていることがあると思う。まだ様式に書かれていないことがあれば、追加で書いて欲しい。

2 ページ 3 ページにもう少し地域の特性・内容的なものを記入する。総合計画・総合連携計画をまとめてコンパクト（箇条書き）にする。そして、将来像に結びつける形で書いた方がよい。

8 ページ 4. 具体的取組みに対する評価に新豊線を入れてもらった方がよい。

11 ページ 今後の対応方針を 田口新城線の検討策（方向性）を書く。なるべく個別にまとめて書いた方がよい。

9 ページの対応方針を結びつけた内容を参考に書いて欲しい。

12 ページ アピールポイント 鳳来南部地区以外にも守り育てる会があるので、もう少し書いた方がよい。勉強会・視察でわかったことが記入してなくて見えにくい。

12 ページ 13 ページで高速バスの内容を書いた方がよい。

【委員】

・7 ページ満足度数 達成度 1.0 との差の表示を目標値と比較した数値にした方がよい。

4 ページ Sバス利用者数 Sバス収支率 民間バス利用者数の記載があるので、7 ページ 8 ページでまとめた数値から Sバス利用者数 Sバス収支率 民間バス利用者数を計算して書いた方がいいと思う。

【委員】

・新豊線 平成28年10月から豊川市の運賃が変わって豊川市内はバスが安く乗れるが、新都市に入ると高くなっている。地域別（新城・豊川）のデータはあるのだろうか。

今まで議論していなかった路線 7 ページ中宇利線 吉川市川線の昔からの路線は余り目ぼしいことは検討してこなかった。小学生以外の利用者を増やすことは何もしてこなかったと思う。

地域でも議論してこなかったと思う。きちんとやっていないといけない。満足度数の表示を29年度と目標値の差を表示した方がよい。

路線それぞれ地域と話あった結果としてこのようなことが出てきたというのが、本省様式で書けるといい。例えば、「地域でこのような会議を何回やって、このような案が出たのでやってみようと思います」と書くとやろうとしていることがわかってよいと思う。

11ページ今後の対応方針を変えること。左側の計画が記述しましたので、どうやって実行するのか、具体的にこの1年間で何をやっていくのかを書いた方がよい。

タイトル「新城市地域公共交通活性化協議会」を「新城地域公共交通会議」に変更すること。

(2) 新城市地域公共交通網形成計画の進捗状況について

・事務局より資料に基づく説明が行われた。

【委員】

・1ページそれぞれの地区の守り育てる会の協議内容はどのようなものか。3ページの高齢者免許証自主返納の結果をどう生かしていくのか。また乗り方教室に高齢者は含まれているか。

【事務局】

・布里田峯線と秋葉七滝線の守り育てる会では、区長のなどと意見交換している。中学校の朝練の中止に伴い朝1便の廃止について検討をした。

【事務局】

・高齢者免許証自主返納状況はまだ実態を見ている段階である。今後の様子を見る。
富岡地区からの要望に応じて実施した会議では、現状の困っていることの聞き取りとなった。
Aコープの閉店により、ボランティアで買い物に連れて行く方がいることがわかった。

【委員】

・地区で会議などを行う場合は、高齢者免許証自主返納制度の周知をしっかりとお願いしたい。

【委員】

・老人クラブの役員会で、自主返納の話をしてもらえなかつた。新城地区で行う老人クラブの役員会に出席できないため、役員を引き受けてもらえない等組織の運営に支障がでている。

【委員】

・市政番組は誰も見られるのか。視聴率はどのくらいか。

【事務局】

・ケーブルテレビへの加入率や番組の視聴率は把握していないが、日常の話題の中であがっているので、結構見ていると思われます。新城以外でも豊橋、田原でも見ることはできます。

【委員】

・免許証返納について警察からの意見をお願いします。田口新城線について29年度は少し持ち直したが、次の展開が見えていないため、専門的なコンサル等に委託すべきではないか。午後、北設で会議がありますので、参考に意見を聞きたい。

【委員】

・返納の状況は、昨年に比べ3倍ほど増えている。本人が自主的に返す方、また家族に連れら

れてくる方がいますが、バスに切り替える方はほとんどないと感じている。

高齢者が車で出かけ、自分がどこにいるのかわからなくなった方が豊川で保護されたケースもありました。移動手段をバスに替えられたらと感じた。

【委員】

・高齢者に対する運転資格の判断も厳しくなっており、受けたかどうかの話から合格したか、落ちたか話に変わってきている。バス利用しているのは、自分の運転で危ない目にあつた場合に限っている。高速バスのチラシのように経験をまとめたもので紹介すれば返納の促進につながる。

田口新城線の状況はなかなか変わらないと考えている。観光・高速バスとの接続等検討すべきです。国の補助金補助率は下がるであろうし、市街地から離れた奥から順に切られるため、地域でよく検討すべきである。

一次評価と進捗状況の関連性は何か。

【事務局】

・一次評価は、補助対象の9月までとして、それ以降は進捗状況とした。

【委員】

・中部様式にはこれまでのこと（なるべく最新までのものを含めて）をすべて記載して欲しい。

3 報告事項

(1) 新城名古屋藤が丘線高速乗合バス「山の湊号」について

・事務局より資料に基づく報告が行われた。

【委員】

・リーフレットから定期券があつたらとの意見があるので検討をして欲しい。アンケートの8ページによると観光が多くなっている。観光を全面的に押し出していくことを検討してはどうか。

【事務局】

・定期券について今後検討していきますが、回数券のいいところは、家族とか友達にシェアできるということで、かなり安くしないと定見券の方がかえって高くなることもありますので、今後の検討課題です。

【委員】

・アンケートの前提がわかりにくいので明記すべきと思う。その他の項目から観光を独立させる等の工夫も必要か。

【事務局】

・8月から座席にアンケート用紙を置き、協力していただいた方の意見を集計した。今後項目を追加するなどアンケート様式を改良していく。

【委員】

・アンケートの目的は何か。回答をどう反映させていくかを明確にする必要がある。もともと通勤・通学のために運行しているため、降車位置からの接続等をみて、ダイヤの編成に生かしたい。

アンケート結果から通勤・通学が少なく、シニア層が多いとしたなら、そこをターゲットにした仕組みを作り、観光とタイアップし名古屋から新城へのダイヤ編成を検討していきたい。もっくる新城での下車が多いので、その方をターゲットに絞ってその後の行先等をアンケートしてみ

てはどうか。

ただ、アンケートを行った方は、1人1回なのでヘビーユーザーも1回にカウントされるため、このアンケートの結果からだけでは通学・通勤に利用する方の意見が反映されにくい。

当初3便から始めたが、学生にとっての使いやすさを追求し、現在名古屋に下宿している学生を新城から通学させるように向け、最終的には、運行本数を6便にするのか判断することが適切と考える。

利用者の少ない設楽町の調査をすることも必要です。高速バスの運行は、悪い方に向かっていると感じません。

【委員】

- ・土・日曜日は3往復から2往復になるのが不満との意見を聞いたので検討して欲しい。

4 意見交換

【委員】

- ・豊鉄バスの客貨混載について教えて欲しい。

【委員】

- ・今のところ、運転手が荷物を運ぶのは無理です。提携業者を探すことはまだしていません。

【委員】

- ・豊田おいでんバスでは足助、稲武間でヤマト運輸と提携している。

5 その他

・中部運輸局愛知運輸支局より「見つめ直そう 身近なバス停」のリーフレットに基づき、バス停の理解を深めてくださいと説明がありました。

- ・事務局から、次回の会議は、3月中旬の予定との連絡を行い会議は終了した。